

市政記者クラブ 様

- 調査テーマに関すること
 - スポーツ市民局地域振興部区政課
担当：後藤・大西 (972-3148)
 - スポーツ市民局地域振興部住民課
担当：二谷・前野 (972-3108)
 - 市長室広報課
担当：山本・酒井 (972-3134)
 - 教育委員会事務局指導部学校DX推進課
担当：水谷・長坂 (972-4674)
- 調査概要に関すること
 - スポーツ市民局市民生活部広聴課
担当：小川・月足 (972-3138)

令和5年度第1回市政アンケートの結果について

第1回市政アンケートの調査結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 調査結果(抜粋)

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

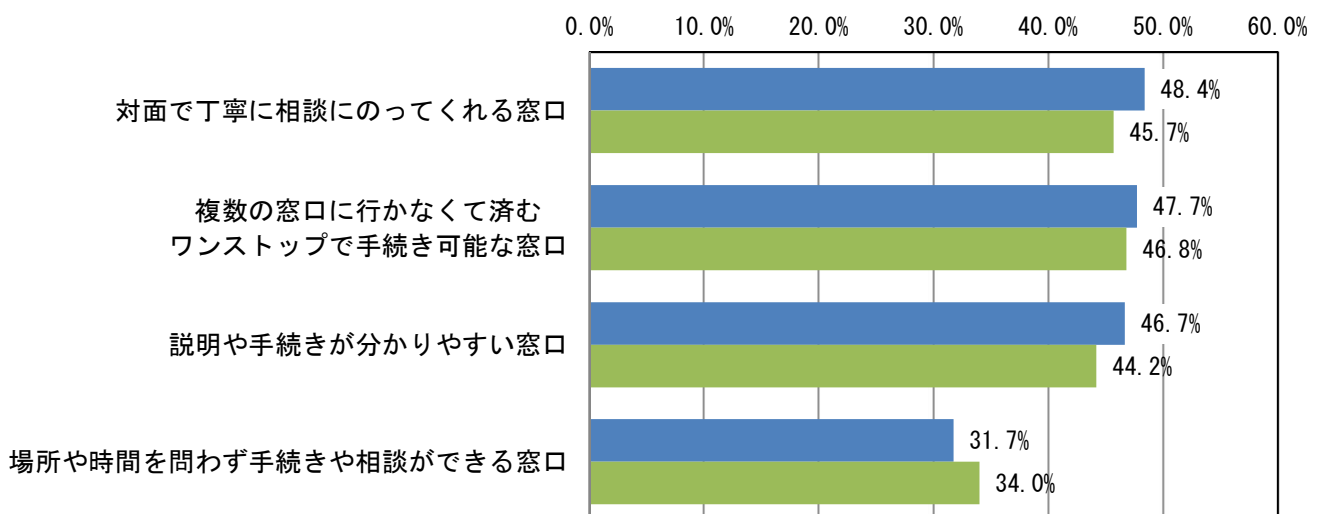
○テーマ1：区役所における窓口サービスについて (所管：スポーツ市民局区政課、住民課)

- ・特に望む区役所の窓口サービスは「対面で丁寧に相談にのってくれる窓口」、「複数の窓口に行かなくて済むワンストップで手続き可能な窓口」、「説明や手続きが分かりやすい窓口」が約5割(問5)

特に望む区役所の窓口サービスについてたずねたところ、「対面で丁寧に相談にのってくれる窓口」48.4%、「複数の窓口に行かなくて済むワンストップで手続き可能な窓口」47.7%、「説明や手続きが分かりやすい窓口」46.7%がそれぞれ約5割と多くなりました。

前回調査(令和4年度第2回市政アンケート)から大きな変化は見られませんでした。

※8ある選択肢のうち、上位4項目を抜粋



■ 令和5年度 (N=750) ■ 令和4年度 (N=823)

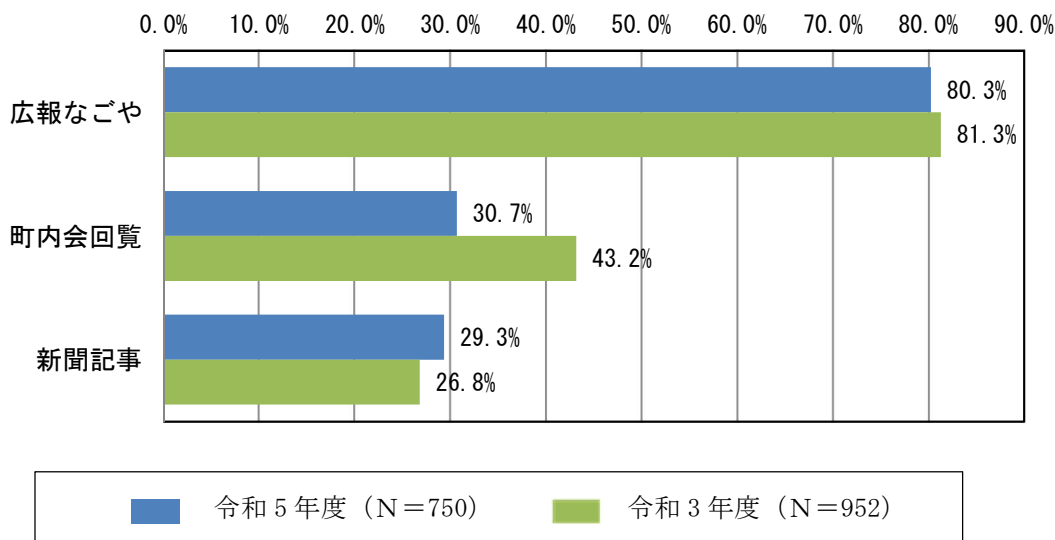
○テーマ2：広報活動について（所管：市長室広報課）

・名古屋市の事業・行催事などを「広報なごや」で知る人は約8割（問15）

名古屋市の事業・行催事などを何で知ることが多いかたずねたところ、「広報なごや」と答えた人が80.3%で最も多く、次いで「町内会回覧」30.7%、「新聞記事」29.3%の順でした。

前回調査(令和3年度第1回市政アンケート)では、「広報なごや」81.3%、「町内会回覧」43.2%、「新聞記事」26.8%で、今回も答えた人の多い順は変わらないものの、「町内会回覧」と答えた人は減少しました。

※11ある選択肢のうち、上位3項目を抜粋



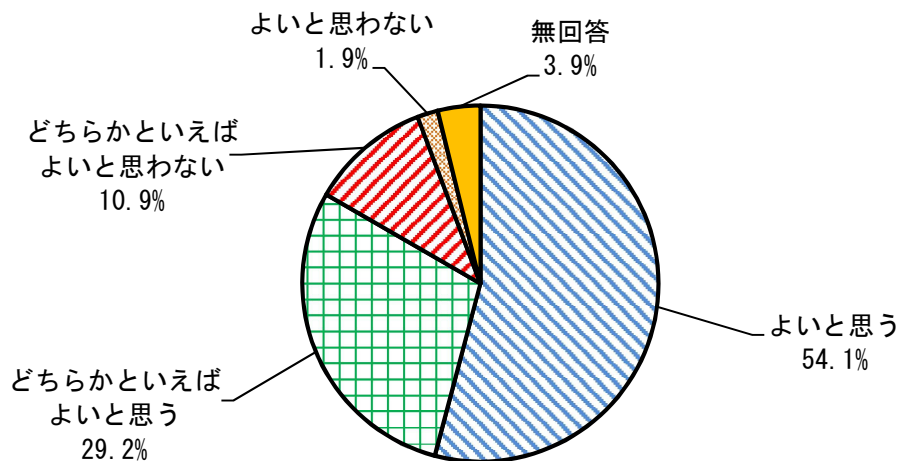
○テーマ3：子どもの学びにおけるICTについて（所管：教育委員会事務局学校DX推進課）

・子どもの学習場面でのICT活用を今後も進めていくことをよいと思う人は8割以上(問26)

子どもの学習場面でのICT活用を今後も進めていくことをよいと思うかたずねたところ、「よいと思う」と答えた人は54.1%、「どちらかといえばよいと思う」と答えた人は29.2%で、あわせると、子どもの学習場面でのICT活用を今後も進めていくことをよいと思う人は83.3%でした。

子どもの学習場面でのICT活用を今後も進めていくことを肯定的にとらえている方が多いという結果が得られました。

N=750



2. 調査概要

○ 市政アンケート

このアンケートは、市内に居住する満18歳以上の市民2,000人を無作為抽出して、年度内に2回実施するものです。

○ 調査期間 令和5年7月4日(火)～7月18日(火)

○ 調査方法

- (1) 対象 市内に居住する満18歳以上の市民(外国人を含む)
- (2) 標本数 2,000人
- (3) 抽出法 住民基本台帳をフレームとする無作為抽出(※)
- (4) 調査方法 調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収
- (5) 回収率 調査標本数2,000人に対して
有効回収数750人(有効回収率37.5%)
- (6) 質問数 29問

※ 母集団から標本を抽出する手法の一つで、今回は、母集団(市内に居住する満18歳以上の市民)から、区の人口比率に応じて無作為に標本(2,000人)を抽出しました。

○ その他

パーセントについては、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、合計が100%にならないこともあります。